

令和5年木曾広域連合議会第4回定例会  
一般質問通告者と項目

令和5年10月31日正午 締切

通告順	町村名	氏名	項目
1	木祖村	奥原 当	1 これからの木曾広域連合のありかた 2 日本遺産を始め価値ある木曾の資源を 再確認して今こそ活かそう



## 一般質問通告書

令和5年 10月 31日

木曽広域連合議会議員 様

木曽広域連合議会議員

奥原 当



木曽広域連合議会令和5年第4回定例会において、次のとおり質問したいので通知します。

### 記

#### 1-1 質問の項目

これからの木曽広域連合のあり方

#### 1-2 質問の要旨

地方自治法で創設された木曽広域連合は、地方公共団体の公共サービスの一部を共同運営することになっており、職員の皆さんが日々頑張っていることは承知している。

各町村の按分負担金で運営されているため独自の予算が組めない面もあるが、各町村の人口が減っている等、課題が多い中では住民要望等を取って、郡内町村の指導的立場にならなければならないと考える。

広域連合の果たす役割、展望をしっかりと持つ必要がある。

広域連合のあり方についてどのように捉えているか。

#### 2-1 質問の項目

日本遺産を始め価値ある木曽の資源を再認識して今こそ活かそう

#### 2-2 質問の要旨

2014年の御嶽山噴火や繰り返される地震。その度に元気になりかけた木曽谷の産業や人々は、打撃を受けてきた。

しかし、木曽には中山道を始め歴史的重要な資産が数多くあり、全国のみならず海外か